

令和7年度 第1回登別市地域公共交通活性化協議会 議事録 要旨

開催概要

日 時 令和7年6月27日（火） 15:00～

場 所 登別市役所 2階 議場

出席者 別紙のとおり

議事内容

1 開会

2 委嘱状交付

- ・前任期が満了したことから、新任された委員へ千葉副市長より委嘱状交付

3 副市長あいさつ

- ・あいさつ後、千葉副市長は公務のため退席

4 会長選任

- ・互選により、会長に登別市市民生活部 渡部委員を選任

5 役員選任

- ・会長の指名により、副会長に室蘭工業大学 有村委員を選任
- ・互選により、監査委員に北海道胆振総合振興局 西崎委員を選任

6 会議の成立報告

- ・本日の協議会委員出席者数は10名
- ・委員の過半数が出席しており、登別市地域公共交通活性化協議会規約第4条第4項の規定に基づき、会議が成立していることを渡部会長が報告

7 議事録署名委員の指名

- ・渡部会長が坂本委員と鳴海委員の2名を議事録署名委員に指名

8 議事

(1) 登別市地域公共交通計画の進捗（令和6年度）について

【説明者】登別市地域公共交通活性化協議会事務局

- ・別紙資料に基づき内容を説明

【委員からの主な質疑等】

■ A 委員

- ・非承認とした理由および質問の意図を説明

（平日の公共交通利用者（1便あたり））

- ・登別駅～登別温泉間について、データが取得できないために評価ができないとされていたが、収益から運賃を除くことによっておおよその乗降客数は把握できるのではないか、との意図で質問した。結果、追加のデータを得ることができたとのことであったため、それらをもとに算出を行い、参考として協議会に示していただきたい。

（人口当たりの公共交通市費負担額）

- ・額の算出の内訳が示されていなかったため質問した。本件は、今後も市の人口は減少していくと見られること、補助金の算定に「キロ当たり補助対象経常費用」を採用しており、物価高騰等の要因も絡むことから、市費負担額の目標値との差が今年度も大きくなると推測される。

（公共交通説明会の実施回数）

- ・バスドライバーが不足しているために公共交通説明会が実施できていないとされていたため、説明会は実施に際してバス事業者に丸投げなのか、という意図で質問した。事務局からの回答には運転手不足について記載されているが、それは本項目には関係がなく、独立した項目で取り上げた方が良くはないか。また、本当にマンパワー不足で計画通りの実施が難しいのであれば、開催回数で考えるのではなく、お客さんが多く集まる場所でのイベントを考えてやっていく方が現実的なのではないか。

（公共交通の人口カバー率）

- ・公共交通の人口カバー率が高いということはバス停等にアクセスしやすいということなので、出来れば高めていく、もしくは維持していくことが望ましい。カバー率の分析をすると公共交通の空白地帯についてもわかるが、今回の登別本町地区についての記載では、観光客の周遊動向の調査が含まれていた。これは人口カバー率とは別の調査のため、別項目を立てて調査した方が良くはないか、という意図で質問した。

【審議結果】

- ・承認

(2) 令和6年度登別市地域公共交通活性化協議会決算について

【説明者】登別市地域公共交通活性化協議会事務局

- ・別紙資料に基づき内容を説明

【委員からの主な質疑等】

- ・なし

【審議結果】

- ・承認

9 その他

(1) グリーンスローモビリティ（オニスロ）の現状について

【説明者】登別国際観光コンベンション協会

- ・別紙資料に基づき内容を説明

【委員からの主な質疑等】

■ A 委員

Q 1. お盆時期等には大渋滞になるという話があったが、旧国立 P から地獄谷まで車で行こうとすると、泉源公園あたりから渋滞し、詰まっていると思うがどうか。

A 1. はなやからバイパスを通って行くルートが渋滞しており、温泉街を通っていくルートはあまり渋滞していないため、泉源公園で左折して交番の方へ向かい、足湯へ向かうルートを採用している。

Q 1. 地獄谷に向かう場合には旧国立 P に車を停めてもらい、オニスロに乗ってもらった方が良いが、繁忙期は泉源公園までしか行かない形となっている。歩けない距離ではないし、道路構造的に仕方がないが、事前に車で来られる方に情報提供する必要がある。地獄谷に入ってくる前に看板等で「旧国立 P に車を停めてオニスロを使ってください」など周知した方が良い。そのまま車で向かっても、相当な時間の待ち時間が生じて結果的にはサービスレベル低下、満足度の低下に繋がってしまう。こういった渋滞のマネジメントは知床国立公園が取り組んでおり、繁忙期には観光センターでまとめてマイクロバスに乗せている。そういった施策の例もあるので、ぜひ市役所で取り組んでほしい。ここは公共交通の協議会だが、道路施策として人の誘導というのも当然やるべき施策であるので、ぜひ事務局の方で御一考いただきたい。

A 1. 渋滞対策についてはおっしゃる通りである。今年のはなやの前に、旧国立 P に誘導する看板を設置、警備員も 2 名付けて、地獄谷の駐車場は満車だと伝えて誘導した。昨年までは旧国立 P が整備されていなかったこともあり、はなやの前まで渋滞することもあったが、今年はスムーズに整理できた。

Q 1. 状況の説明ありがとうございます。よくわかりました。

■ B 委員

Q 2. 運行ルートに旧国立 P が入ったのは、市が旧国立病院跡地に駐車場を整備しているためという理解で良いか。

A 2. そういった理解で良いと思う。スケジュール的には 7 月以降と聞いているので、駐車場が活用されるようになったときに利便性の高まるルートを設定した。

(2) 本市の公共交通計画にて定められている公共交通空白地域について

【説明者】登別市公共交通活性化協議会事務局

- ・本市の公共交通計画にて定められている公共交通空白地域について、解消に向けた取り組みを進めるため、令和 5 年度に常盤町・柏木町地区でマイクロバスによる定時定路線方式での実証実験を実施したところであるが、今年度についても、登別本町地区における実証実験を実施したく計画している。

実証実験の時期や手法については交通事業者の皆さまと調整中であり、実験の実施に係る予算についても 9 月に予定されている第 3 回登別市議会定例会に補正予算案を提出する予定であることから、詳細については今後、協議会委員の皆さまに共有させていただき、実証実験の実施内容によっては議題としてお諮りすることとなろうかと思われる。

(3) 北海道市長会の取り組みについて

【説明者】登別市公共交通活性化協議会事務局

- ・今年度、北海道市長会が北海道大学、パナソニック I T S 株式会社等と連携し、本市の地域の課題解決のため、産学官共創による実践的な課題解決と新たな事業の創出を目的に登別地区における公共交通の問題について検討するとのことであった。

具体的な内容はまだ決まっておらず、これから進めていくとのことであり、皆さまに事前に情報提供としてお伝えさせていただく。

今後、具体的な内容が決まり、皆さまにお伝えできる段階になり次第、情報提供させていただきたい。

(4) 登別駅と登別温泉間の交通手段について

【説明者】登別市公共交通活性化協議会事務局

- ・本市の登別地区において、登別駅と登別温泉との間で路線バスが終了した後における観光客の足が不足しているという声を聞いており、その課題解決のため、現在、登別国際観光コンベンション協会と市等において国の補助も活用した事業の実施について検討していると市の観光経済部より情報提供があったことから、皆さまに情報共有をさせていただきたい。

こちらについても、事業内容が決まり次第、皆さまへ情報提供させていただく。

7 閉会